NPO 法人トラストサルン釧路 2019 年度活動報告

トラストサルン釧路は、釧路湿原の生態系を保全するため流域内に自然保護地をつくり、生態系の維持と回復、調査研究、普及啓発、提言等の活動をしています。2019 年度も、会員はじめ多くの方々のご支援のもと活動し、定款に定めた特定非営利活動を以下のように実施しました。釧路湿原をめぐる話題が増えてきたこともあり、他団体との関わりが多くなった年でした。

なお 2019 年度において、非営利活動以外の活動(収益事業)は行っていません。

1. ナショナルトラスト活動

2019 年度は、3 名の方からのご寄贈により、6 カ所合計 11,674 ㎡の新規トラスト地(自然保護地)が成立しました。これで保護地は 35 カ所、合計 507ha 余りになりました。また保全委託を受けて管理していた第 12 号自然保護地(やちぼうず保護地 8,911 ㎡)が関係者のご努力により寄贈され、本会所有となりました。さらに現在ご寄贈の申し出を受けている土地が 5 件、交渉中の候補地が 1 件あります。

2. 自然再生の取り組みと保護地の管理

自然林再生のために地元樹種の苗木づくりを継続して行い、勝野遺贈金を活用した就労支援組織との協働で約 7,000 本、会員等のボランティア作業により約 2,000 本の地元樹種の苗木を保有しています(年度末調べ)。この中で 2010 年から継続してきた勝野遺贈金事業は、関係者のご協力のもと本年度で終了したことに感謝申し上げます。また、育てた苗木を用いて市民参加およびボランティアにより 426 本の植樹を行うことができました。これまでの植栽地の生育状況調査や、シカの食害を防ぐためのネットの設置と維持補修も行いました。第 29 号地に、保護地を示す標識 1 本を新設しました。

3. 会の基盤づくり

『湿原の新聞』の配布や、会員による勧誘を行い、会活動の基盤となる会員拡大に継続して努力しました。2019 年度末の会員数は前年からやや増加して 206 名となりました。湿原保護基金には新たに 59 件の合計 648,000 円が集まったほか、運営費への寄付も多数寄せられました。森づくり活動に関しては、次年度の自然林再生のための助成金を獲得しました。

4. 広報・主張・啓発活動

会員以外の市民にも参加を呼びかけて、春と秋の植樹・森づくり行事、2 回の自然保護地の視察会、水鳥観察会を開催しました。行事への参加をきっかけに入会された方もおられ、改めて活動継続の大切さを感じました。会員向けの会報『サルンだより』を 3 回発行しました。9 月には一般への配布を想定した『湿原の新聞』を発行して、会の活動をより広く紹介しました。インターネットのホームページでも会の活動を紹介しました。湿原を横断する通称「コッタロ道路」に関して標茶町の担当者と意見交換を行い、湿原保全の立場から考え方を伝えました。釧路湿原自然再生協議会の小委員会では、湿原保全を第一とする立場から意見を述べています。

5. 他機関・団体との連携

釧路川水系の魚類の保護を進めている釧路自然保護協会の事業に協力しました。地元野鳥の会との共催行事を行ったほか、太陽光発電所の建設により生息地が狭められているキタサンショウウオの保護について関係者と情報交換を行い、湿地に生息する鳥類の調査にも協力しました。コープさっぽろが釧路市で開催した「食べる大切フェスティバル」の運営に協力し、「森づくり交流会」では会の行ってきた植林事業の成果を全道の森づくり団体に向けて発信しました。富士ゼロックス端数倶楽部の方々が全国からどんぐり記念日に参加され、前日にはトラスト活動に関して報告する機会を持ちました。

【ご寄付】

〇企業等より
北海道中小企業家同友会くしろ支部より「苗代として」⇒緑化事業の指定寄付として受入れ
㈱カイトー商会より「ひかりの森計画」として⇒緑化事業の指定寄付として受入れ
㈱渡辺合金鋳造所、山梨学院小学校けやきの会、古典文学研究 WS の会、㈱藤プリントより⇒湿原保護基金へ
JA釧路地区女性協議会、富士ゼロックス端数倶楽部、㈱富士ゼロックス、㈱藤プリント、サルン作業チームより⇒一般会計へ
〇個人より
湿原保護基金への寄付、一般会計（運営費）への寄付、切手の寄付等、Yahoo インターネット募金も含めて多数の方々からいただきました。
【助成金等】
〇平成 30 年度（2018 年度）中に受けた森づくり活動に対する助成金（コープさっぽろ未来の森づくり基金）100,000 円を 2019 年度の自然林再生活動に生かしました。
〇2020 年度の森づくり活動に対する同助成金 100,000 円を、2019 年度中に新たに受け入れました。
【表彰等】
なし

2019 年度活動日誌（主なもの）

【2019】
4/19　勝野遺贈金による育苗作業開始
5/5　ボランティア植林月間開始
5/7　第 1 回理事会
5/13　定時監査
5/17　サルンだより 124 号発行
5/19　「湿原再生の森づくり」に 24 名参加
6/9　2019 年度通常総会
6/29 くしろエコ・フェア（イオンモール釧路昭和店）で『湿原の新聞』を配布
6/30　第 29 号自然保護地（標茶町クチョロ）の観察会に 21 名が参加
7/7　第 2 回理事会
8/21　湿原内のクイナ調査に協力
9/1　湿原の新聞（サルンだより 125 号特集号）を発行
9/2　サルンだより 126 号発行
9/28　コープさっぽろの主催する「食べる大切フェスティバル」の未来森基金ブースの体験コーナー運営に協力
9/29 第 21 号自然保護地（コッタロ水源林保護地）の観察会に 21 名参加
10/5　富士ゼロックス端数倶楽部の会員向けにトラストサルン釧路の活動報告会
10/6　どんぐり記念日に 56 名参加
10/31 釧路湿原自然再生協議会の森林再生小委員会および現地視察
11/2　釧路自然保護協会の魚道づくりに協力
11/10　達古武沼水鳥観察会（野鳥の会釧路支部との共催）に 26 名参加
11/12　標茶町企画財政課とコッタロ道路の管理に関する意見交換、自然再生協議会の土砂流入小委員会
11/17　植栽地のシカ除けネット補修作業
11/23　苗畑倉庫の屋根修繕作業
12/13　旧川復元小委員会
12/21　ナショナルトラスト全国大会（東京都千代田区）で『湿原の新聞』を配布
12/25 第 3 回理事会

【2020】
1/14　サルンだより 127 号発行
2/1　コープさっぽろ「森づくり交流会」で森づくり活動の紹介、2019 年度森づくり助成金贈呈式で助成金を受ける